

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスほっと		公表日	令和8年 3月 11日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		プレイルーム（主に余暇活動）、学習スペース、センサリールーム（リラクスルーム）の3つのスペースがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		有資格者の正職員に加え、保育士、児童指導員等の有資格者のパートと送迎ドライバーを配置している。	当日利用キャンセルにて利用者の人数が減った時等に職員数が過剰な時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	段差を無くしたり、柵に登るのを防ぐ為の防止を施している。	手すりの設備が無い、車いすを乗せれる車両が無い等、バリアフリー化できていない設備がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	10		清潔な環境を保つために、毎日の清掃業務や定期的な換気等を実施している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	毎日の朝礼の実施、定期的な支援者会議等を行っている。また、会議等の内容は紙面にて全職員に把握してもらっている。	非常勤の職員は会議に参加する機会が少ない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価表以外に、毎日の連絡帳を介してや、送迎時、電話連絡等で相談を受けた際は対応し、内容に応じた改善に努めている。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		出勤状況の関係上、毎日の意見等の把握が難しい場合がある。また、非常勤職員も交えての会議の開催ができていない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		法人内の別事業所と会議を行い、業務報告を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に事業所内研修を実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		毎年度、法人ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		定期的な利用者・ご家族との面談に加え、日々の振り替えを行いながら、ニーズの分析に努めている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		支援者会議を実施し、支援の方向性や課題解決に向けた方法を話し合い、計画を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		作成した計画書は全職員に把握してもらっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	それぞれの領域に応じた支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		支援者会議にて課題についてや、プログラムの内容について協議している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		プログラムが固定化しないように、利用者の様子や状況に応じて、プログラムの内容を変更するように努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1		支援前に打ち合わせをしていますが、児童の様子や状況によって個々で対応になる時がある為、職員間でのホフレンソフを増やしていく必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	毎回の打ち合わせまでは行っていないが、利用者一人一人の日々の様子を必ず記録にし、全職員が把握できるようにしている。	送迎業務等により、当日での打ち合わせが難しい場合がある。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		利用者一人一人の日々の様子を必ず記録にし、支援の検証、改善が必要な記録は全職員が把握できるようにしている。		
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		定期的な面談に加え、利用者の状況や状態に応じて、不定期な面談を行っている。		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8				
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		日々の利用者の様子や状態に応じて、プログラムの変更と一緒に考えたり、利用者本人の選択を大事にしてあげることに取り組んでいる。		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		参加ができない場合でも、情報提供書を提出する等、情報共有が円滑にできるよう努めている。		

関係機関 や保護者 との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	かかりつけ医や定期的を受診している医療機関等は把握するようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		学校からのお便り等も確認しながら、トラブルが無いように努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		ご家族からや相談員の方を通して、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		卒業前に行われる担当者会議等に参加し、デイでの様子や支援内容を共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		必要に応じて情報共有等を行っているが、機会は少ない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3		公園等で地域の児童と触れ合う機会はあるが、行事の様な計画された触れ合いの機会は設けられていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		積極的には参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳や送迎時、電話連絡等にて様子の報告や支援内容の共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	研修は行っていないが、家族支援の一環として、情報共有や支援方法のアドバイス等を行っている。	
	保護者 への説明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		事業所見学時や契約時に書類等を活用しながら説明を行っている。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		毎日の連絡帳、送迎時、電話連絡等に加え、定期的な面談を実施し、意向の確認を行っている。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		作成した計画書類は保護者様に必ず支援内容の説明を行っている。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		保護者様の希望や相談があれば、面談を行ったり、支援への助言を行っている。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4		法人での行事に保護者様の参加を募ることがあるが、機会は少ない。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		苦情受付担当、解決責任者を配置している。	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		法人ホームページやSNS（インスタグラム）にてイベント活動での様子を発信している。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		十分に注意している。また、関係機関内で個人情報を使用した会議等は、会議内容の記録を残すようにしている。	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		事業所側が地域のイベントや商業施設等を活用することはあるが、地域に開かれた事業運営はできていない。
非常時 等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		事業所にて閲覧できるようにマニュアルを掲示している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			定期的な避難訓練を実施しているが、利用者・職員全体での訓練は行っていない。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		利用開始前に服薬やてんかん等について把握するようにしている。また定期的な面談にて変更が無いか確認している。 てんかん発作時の対応マニュアルを作成している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		利用開始前にアレルギーが無いか把握するようにしている。また定期的な面談にて変更が無いか確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			定期的な避難訓練を実施しているが、利用者・職員全体での訓練は行っていない。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		非常時用の緊急連絡先を把握し、迅速な連携が取れるようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	事故に繋がらないように、未然に防ぐことを念頭に置きながら支援を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		定期的に事業所内での虐待防止研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1		身体拘束の対応が必要となるケースが発生していない。	

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和9年3月11日							
		利用児童数		23人		回収数		19	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
現 在 ・ 体 制 強 化	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2		1				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19							
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1		1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			1				
	7 こどものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等サービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19							
	8 放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19							
	9 放課後等サービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19							
	10 事業所の活動プログラムが構造化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1						
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	7	7		5				
	12 事業所を利用する際、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19							
	13 「放課後等サービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19							
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	6		7				
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18			1				
保 護 者 へ の 説 明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18			1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が与えられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	4	2	7				
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18			1				
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18			1				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の原級や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	5		6				
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19			1				
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1		1				
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1		1				
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1		1				
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		1				
満 足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	19							
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	19							
	29 事業所の支援に満足していますか。	19							

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスほっと		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人一人の発達段階や障害特性に応じた関わり方や課題の設定。	課題や活動、支援内容を職員間で共有しあえるように毎日の様子を記録し、内容をいつでも誰でも振り返れるようにしている。	
2	利用者が楽しいと思えるような遊びやイベント活動の実施。	地域のイベントや商業施設へ遊びに出かける等、利用者たちが楽しめる活動を出来るだけ体験できるようにしている。	
3	不登校児童に対する支援の実施。	不登校状態である児童に対して、学校以外の居場所作り、登校再開に向けた取り組み等の支援を行っている。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や他放課後等デイサービス事業所等との交流や保護者間での交流の機会が無い等、開かれた事業運営が出来ていない。	外部交流の経験の少なさ、地域との連携不足。	地域の福祉向けのイベント等に参加することで、外部での交流の機会を増やしていく。 また、保護者参加型の行事企画の実施、積極的な宣伝・広報の実施。
2			
3			